戦後80年 福岡県 平和記念事業

伝えたい歴史がある。

平和記念講演

開催日時 **8月11日(月・祝)**

14:00~16:30(開場 13:15)

場所 **アクロス福岡 4F 国際会議場**

福岡市中央区天神1丁目1番1号

入場無料
定員300名
(当日受付順)

平和記念事業については こちら▶

第一部

記念講演

戦時下を生きた
戦争体験者が語る
「平和への想い」

(一財)福岡県遺族連合会
副会長
田中玉喜さん

第二部

創作落語

ニライカナイで逢いましょう
~ひめゆり学徒隊秘抄録~

三代目
桂春蝶さん

戦時資料展 ―戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう―

飯塚市歴史資料館 飯塚市柏の森959番地1

7月17日(木)~8月19日(火)

展示時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

※入館料が必要です
大人・大学生230円(160円)、
高校生110円(70円)、小人50円(30円)
()は団体割引料金です。(20名以上)

アクロス福岡 福岡市中央区天神1丁目1番1号

8月11日(月・祝)~8月15日(金)

展示時間 9:00~17:00(初日は18:00、最終日は15:30まで)

※入場無料

特別展 画像提供:宇佐市教育委員会
大分県宇佐市の戦争遺構や人間爆弾「桜花」を紹介するパネルを展示

R60 古紙パルプ配合率60%再生紙を使用
VEGETABLE OIL INK

主催:福岡県　共催:福岡市、飯塚市、飯塚市教育委員会、筑前町
●お問い合わせ:福岡県総務部行政経営企画課　092-643-3027

平和記念講演

第一部講演者　プロフィール

田中　玉喜（たなか　たまき）

1938年、福岡県三井郡大刀洗町に生まれる。
6歳のときに父が満州牡丹江で戦死。
1961年、熊本女子大学（現在の熊本県立大学）文家政学部英文科卒業。
1961年より中学校の英語教師として教壇に立つ。
秋月中学校校長を務めた後1999年退職。
長年にわたり遺族会活動に参加。
現在、（一財）日本遺族会女性部長、（一財）福岡県遺族連合会副会長。

第二部講演者　プロフィール

三代目　桂　春蝶（かつら　しゅんちょう）

1975年大阪府生まれ。父である二代目桂春蝶の死をきっかけに噺家になることを決意。
1994年三代目桂春團治に入門。
2009年に三代目桂春蝶を襲名。
2015年には上方落語家として初となるフェスティバルホールでの独演会を開催。

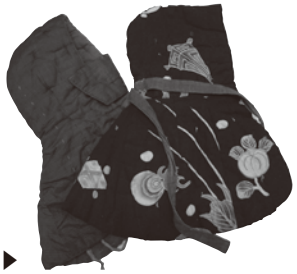
近年【桂春蝶の落語で伝えたい想い】をシリーズ化し、昨年2024年には芸歴30年を迎え、自身のルーツと〝岡本太郎と太陽の塔〟の製作秘話「太郎と太陽と大」を創作、上演。その勢いは止まることを知らず、唯一無二の世界を生み出し続ける。

創作落語
「ニライカナイで逢いましょう〜ひめゆり学徒隊秘抄録〜」

先の大戦にて20万人余の犠牲を出した沖縄戦。悲惨極まる状況下の中で、その若き命を散らした、ひめゆり学徒隊員と看護婦長に纏わるお噺。

福岡県戦時資料展

銃弾が貫通した鉄かぶと▶
昭和１２年、中国南口の戦闘で被弾。弾丸が貫通しています。この兵士は奇跡的に助かっています。



防空頭巾▶
空襲の際、落下物や火災から頭部を保護するためにかぶったものです。

▲航空眼鏡

空襲警報看板▶
空襲警報発令を知らせるため、九州帝国大学農学部で使用されていたもの。

◀日の丸寄せ書き
持ち主は昭和19年5月、中国山西省で地雷の爆発により重傷を負いつつも、生還されました。寄せ書きは激しく破損しています。

▲千人針
出征する兵士の武運長久を願い、千人の人々が帯状の布に一針づつ結び目を作りました。兵士はこの布を身に付け、戦場に向かいました。

▲奉公袋・応召袋
兵隊に入るときに持っていく必要なものを入れる袋のことを陸軍では「奉公袋」、海軍では「応召袋」